

9月1日は「防災の日」

くさくさくさくさくさくさく、頼りになるのは誰ですか??

9月1日は「防災の日」です。この日は大正12年に関東大震災が起きた日であることから、「災害への備えを怠らないように」との戒めを込めて防災の日と定められました。また、この頃に台風が来ることも由来の1つでもあります。

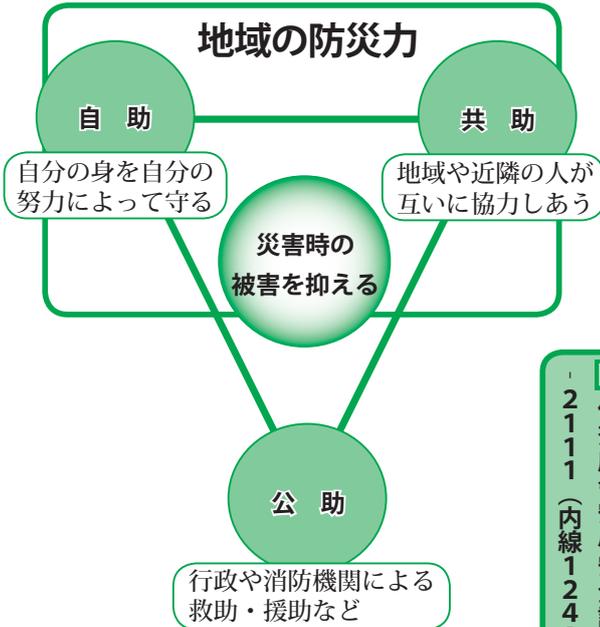
皆さんも、いつ災害が発生しても慌てないように、日頃から防災への意識を高め、自分の防災対策を見直してみましよう。

防災・減災の担い手は…?

大きな災害が同時に広い範囲で発生した場合、その規模が大きければ大きいほど、市や消防といった公的な救援（＝公助）に時間がかかることは、近ごろの災害を見ても明らかです。

初期消火や被災者の救出・救護など、一刻を争う場面において最も頼りになるのは、自分の身を自分の努力によって守ること（＝自助）、そして地域や近隣の住民同士が協力し合って対応すること（＝共助）と言えます。

災害時はもちろん、普段からの防災・減災に向けた取り組みには、こうした自助・共助・公助の繋がりが大切であり、特に、



自助・共助が主体となる、身近な地域における災害への対応力（＝地域の防災力）の向上が求められています。

問 伊奈庁舎安心安全課 ☎ 58-2111 (内線1242)

自主防災組織をつくろう

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の皆さんの連帯感に基づいて自主的に結成される組織です。

普段は、住民の防災意識の高揚や防災知識の習熟を図る役割を、また災害時には、住民同士の助け合い・支えあいの役割を担うことが期待されます。

市消防団ポンプ操法大会が開催されます

「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと、活動を行っている市消防団の皆さんは、昼夜を問わず訓練を行っています。

この操法大会は、消防ポンプ車の基本操作を練磨し、迅速な消火活動および災害活動能力の向上を図るため、毎年実施されています。

各分団の統一の取れた迅速な動きを披露し、日頃の訓練の成果を十分に発揮していただけるよう、皆さんの応援をお待ちしています。



昨年の操法大会の様子

ています。

▼日時：10月5日(日) 午前8時30分から

▼場所：総合運動公園多目的広場

あぶない！！ 用水路やため池で遊ばないで！

農作業が盛んになるこの時期は、用水路やため池の水位が高くなり、場所によっては水深が1m以上になるところもあります。こうした場所に子どもが転落すると、大事故につながります。

痛ましい事故を防ぐためにも、子どもたちが用水路やため池で遊ばないように、ご家族で話し合ってくださいとともに、こうした場面を見かけたら、お声がけをお願いします。

問 谷和原庁舎産業経済課 ☎ 58-2111 (内線 8153)